

しかし、中程の深さの糞は湿っており柔らかく、底部ではカビが生えたり、形が崩れていたりするものもあった。ため糞の中程の深さから本種2個体を採集した。なお、採集場所は国立公園特別保護地区外である。

ナキウサギには、ため糞をする習性があり、なわばり内に何カ所かのため糞場がある(川道, 1994)。しかし、通常ナキウサギは岩場の隙間に生息するため、今回のように、ため糞場が地表に見つかることは少ないと思われる。おそらく、冬期に小崖地周辺に雪道を掘って生息していた個体のため糞場が融雪により現れたのだろう。

本種の採集記録は少ないが、最も早い記録が6月19日、糠平川: alt. 800 m (高橋・春沢, 2014)、最も遅い記録は7月29日、大雪山: alt. 2,000 m (Masumoto, 1984)である。記録のほとんどが7月で、本記録が最も遅い記録である。

末筆ながら、文献をご教示いただいた保田信紀氏に厚くお礼申しあげる。

引用文献

- 芳賀 馨, 2005. キタヤママダグソコガネを十勝支庁上士幌町で採集. 甲虫ニュース, (150): 22.
- 堀 繁久, 1997. 白滝村平山のキタヤママダグソコガネについて. Lamellicornia, 12: 1-2.
- 堀 繁久, 2005. 北海道高山マダグソコガネ. 鯉角通信, 別冊(2005年11月): 34-36.
- 川道武男, 1994. ウサギがはねてきた道. 270 pp. 紀伊國屋書店, 東京.
- Masumoto, K., 1984. New coprophagous Lamellicornia from Japan and Formosa (III). Ent. Rev. Japan, 39: 167-173.
- 岡島秀治・荒谷邦雄監修, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp. 学研教育出版, 東京.
- 高橋 敏・春沢圭太郎, 2014. コガネムシ科: 食糞群. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録, (3): 47-100.
- 佐々木邦彦・堀 繁久, 1998. Pitfall Trap で捕獲された北海道のコガネムシ類. Lamellicornia, 14: 17-29.

(磯 清志 070-0901 旭川市花咲町3丁目
北海道旭川北高等学校)

【短報】三重県で採集されたユーラシアシジミガムシ
ユーラシアシジミガムシ *Laccobius (Laccobius) minutus* (Linnaeus, 1758) (図1) は、ヨーロッパ産の標本をもとに記載された種であり、国外ではヨーロッパのほぼ全域のほか、ロシア、キルギス、トルコ、モンゴルに分布する (Hansen, 1999)。国内からは、近年になって兵庫県の加古川市および加西市から記録され (上手・森, 2018)、現在のところ他の地域からの報告はないようである。今回、筆

者らが保管している三重県伊賀市産シジミガムシ類の標本を再検したところ、本種が含まれていることを確認した。そこで、現地での追加採集による記録も含め、国内2県目の産地としてここに報告する。なお、当地では同所的に同垂属のミユキシジミガムシ *L. (L.) inopinus* Gentili, 1980 も生息しているため、雄では交尾器の形状 (図2) で種を判別した。また外部形態の特徴として、ユーラシアシジミガムシは上翅がより暗色になる傾向があることや、体長がやや小さいこと (上手・森, 2018) のほか、頭部および前胸背の網状印刻がより強いことから (図3) (森正人氏, 私信)、雌についてはこれらの形質を用いて総合的に種を判別した。

当地でのユーラシアシジミガムシとミユキシジミガムシの採集記録は以下のとおりである。いずれも採集地は三重県伊賀市法花であり、標本は採集者がそれぞれ保管している。

【ユーラシアシジミガムシ】: 1♂, 18. X. 2008, 北野採集; 1♀, 13. IX. 2011, 苜部採集; 1♂, 7. X. 2018, 北野採集; 1♀, 7. X. 2018, 西原採集; 1♂ 2♀♀, 27. X. 2018, 北野採集; 3♂♂ 1♀, 27. X. 2018, 秋田採集。



図1. 伊賀市産ユーラシアシジミガムシ雄。



図2. 伊賀市産シジミガムシ垂属2種の雄交尾器中央片(側面)。左: ユーラシアシジミガムシ, 右: ミユキシジミガムシ。なお、スケールは0.5 mmを示す。

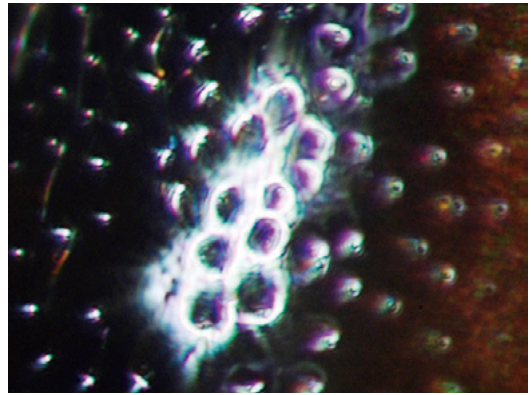
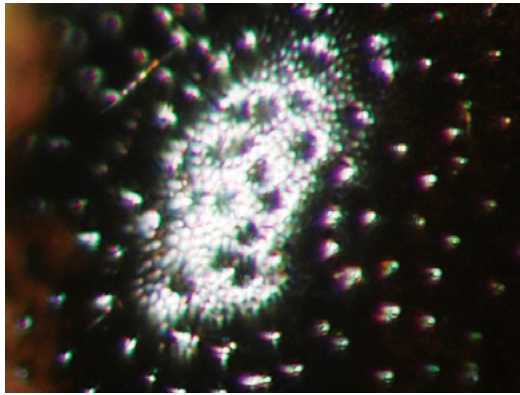


図3. 伊賀市産シジミガムシ亜属2種の前胸背(一部を拡大). 左: ユーラシアシジミガムシと判別した雌個体, 右: ミユキシジミガムシと判別した雌個体.

【ミユキシジミガムシ】: 1♂1♀, 18. X. 2008, 北野採集; 1♂3♀♀, 13. IX. 2011, 苅部採集; 12♂♂7♀♀, 7. X. 2018, 北野採集; 15♂♂15♀♀, 27. X. 2018, 北野採集; 7♂♂4♀♀, 27. X. 2018, 秋田採集.

シャジクモ類やコナギなどが生育する休耕田わきの浅い湿地(図4)やクログワイ, チゴササ, コアゼガヤツリなどが生育する貧栄養な池の岸際から得られたが, ミユキシジミガムシと比較して個体数は少なかった. なお, 兵庫県の生息地でもミユキシジミガムシと混生しているが, そこではユーラシアシジミガムシのほうが水深の深い水域を好む傾向があるという(上手・森, 2018). 一方, 今回本種が確認された三重県の生息地では, ユーラシアシジミガムシが深い水域を好むという傾向は特に見受けられなかった. また, 兵庫県・三重県いずれの生息地においても両種は混生していることから, ミユキシジミガムシが産する他の地域でも, ユーラシアシジミガムシが生息している可能性がある.



図4. 伊賀市におけるユーラシアシジミガムシがみられた湿地.

末筆ながら, 本発表を勧めてくださった上手雄貴(名古屋市衛生研究所)・中島淳(福岡県保健環境研究所)の両博士と, 本報の作成にあたり様々なご助言をいただいた森正人氏(環境科学大阪株式会社)にお礼申し上げる.

引用文献

Hansen, M., 1999. Hydrophiloidea (Coleoptera). World Catalogue of Insects, 2: 416 pp. Apollo Books, Stenstrup.

上手雄貴・森 正人, 2018. 日本初記録のユーラシアシジミガムシ. さやばねニューシリーズ, (29): 20-22.

- (北野 忠 259-1292 平塚市北金目4-1-1
東海大学教養学部)
(西原昇吾 112-8551 文京区春日1-13-27
中央大学理工学部)
(苅部治紀 250-0031 小田原市入生田499
神奈川県立生命の星・地球博物館)
(秋田勝己 514-1136 津市久居東鷹跡町170-2)

【短報】ヘリアカデオキノコムシの沖縄島からの初記録

ヘリアカデオキノコムシ *Scaphidium reitteri* Lewis, 1879 は, 神戸市摩耶山を基準産地として記載され, これまで本州, 四国, 九州, 対馬, 奄美大島から記録されている(Lewis, 1879; 柴田ら, 2013). もっとも, 保科(2006)は奄美大島における本種の分布については疑いがあるとしていたが, その後発見された奄美大島産同種の雄個体の調査により, ヘリアカデオキノコムシの同島における分布は確実であることが示された(保科, 2015).

筆者の一人である杉野は, 1975年に沖縄島北部の与那覇岳で本種とおぼしき1♀を採集した. こ